



## 子育て交流センター 親子ふれあい講座



▲鉄棒遊びで学びながら遊ぶ参加者

### 親子健康体操

9月17日、親子健康体操が行われ、12組24人が参加しました。

同イベントでは、健康運動指導士の内藤ルミ子さんを講師に招き、スキンシップやふれあい遊びを行いました。スキンシップを通じて、子どもの心や体の発達の促進や子供の体の異変への気づき方などを親子で一緒に体を動かしながら学びました。

参加者からは、「じっくり子どもと向き合う時間が持てて良かった」との声が聞こえました。

子育て交流センターでは毎月さまざまなイベントを開催しています。詳細は交流センターだよりなどでご確認ください。

子育て交流センターでは、主に就学前の子どもと親を対象に、親子が学んで、遊んで、体験して、楽しんでもらうため「親子ふれあい講座」を定期的に開催しています。

### マッキー先生の親子ふれあい遊び

9月5日、マッキー先生の親子ふれあい遊びが行われ、14組31人が参加しました。

同イベントではきのいい羊達の上田優和さん(マッキー先生)を講師に招き、かけっこで速く走るための必要な力のつけ方を鉄棒や吊り輪、マットなど室内遊具を使い、楽しく体を動かしながら学びました。

参加者からは「すぐに実践できることを学べたので、家でもやってみようと思う」との声が聞こえました。



▲スキンシップでふれあう参加者



## 元気の秘訣は好き嫌いをしない 町内長寿者訪問



▲記念の花束を受け取る宗藤さん

9月9日、「敬老の日」にちなんで、町内の長寿者宗藤ち翁さん(100歳)を訪問し、仁科町長からお祝いの花束と記念品を手渡しました。

11月に101歳を迎える宗藤さんは、代々の農業を受け継ぎ、畑仕事をするのが日常でした。長男に仕事を引き継いだ後も、毎日お弁当を持って畑に草取りに行き、野菜が育つ様子を見ることを毎日楽しみに過ごしていました。

元気の秘訣は好き嫌いなく何でもおいしく食べること。最近は、孫と一緒に買い物やランチに行くことを楽しみに過ごしているとのこと。

町内で100歳以上の長寿者は男性4人、女性19人の計23人(9月末時点)です。



## 1人1台タブレットなど協議 函南町総合教育会議



▲教育行政について話し合われました

8月29日、函南町役場で函南町有害鳥獣被害防止対策協議会による町内農業者向けの研修会が行われ、32人が参加しました。

研修会では、「イノシシから農地を守るために」と題して、イノシシ・シカ・ハクビシンから農地を守るための対策と農作物に鳥獣被害が起こる原因などを農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの講演をとおして学びました。

参加者からは、「鳥獣について初めて知ることがあった」「猟友会に所属した人の話を聞いてよかった」などの声が聞こえました。



## 感染症対策を踏まえた訓練を 函南町総合防災訓練



▲避難行動要支援者役に問診する職員

8月30日、田方農業高校など町内各地で総合防災訓練が行われました。

町内各エリアの避難所では感染症対策を目的とした開設・運営訓練が行われ、入り口での非接触体温計などによる問診や「密」を避ける居住スペース設営が行われました。

また、令和元年東日本台風で浸水被害があった畑毛区をモデル地区として、高齢者などの避難行動要支援者移送訓練などが行われ、福祉車両による移送方法などを関係機関と確認しました。

8月25日、函南町役場で令和2年度函南町総合教育会議が行われました。

総合教育会議は、首長と教育委員会が相互の連携を図り、教育行政を推進していくもためのもので仁科町長、山邊教育長、教育委員4人、町職員が出席しました。

今回の会議では、国のGIGAスクール構想を受けて児童生徒1人1人に1台ずつタブレット端末を整備する計画や待機児童対策の現状について話し合われました。



## 農作物を守るために 函南町有害鳥獣被害防止対策協議会研修会



▲研修会の様子